会報８月号ヘッドライン

東洋療法推進大会

京都府鍼灸マッサージ師会　会員は

リーガロイヤルホテル京都へ集合

お 知 ら せ

第16回東洋療法推進大会 in 京都のご案内

テーマ 「先端医療と伝統医療の融合～未来への期待」

特別講演（府民公開講座）府民入場無料

「iPS細胞による網膜再生とロービジョンケア」

理化学研究所　網膜再生医療研究開発プロジェクト　**仲泊（なかどまり）　聡（さとし）** 先生

分科会プログラム（予定）

保険局	「療養費のいわゆる不正対策と受領委任払制度設計」
法制局	「あはき・柔整施術所の広告について」
学術局	「臨床発表」
介護推進委員会	「平成30年度介護保険制度改正・今後の介護予防」
スポーツ事業委員会	「オリンピック・パラリンピック及びキャンプ地にどう臨むか」
災害対策委員会	「熊本地震を教訓とした今後の災害対策」
視覚障害局	「視覚障害あはき師の現状と未来」

※京都府師会担当スポーツ事業分科会も予定されています

日　時　9月24日（日）12:00～9月25日（月）13:00

会　場　リーガロイヤルホテル京都

〒600-8237 京都府京都市下京区 東堀川通り塩小路下ル松明町1番地

TEL：075-341-1121

大会参加費　全鍼師会会員　10,000円（付添無料）
一般有資格者　15,000円
学生　学校申込 2,000円／当日3,000円

会員への参加補助

本会会員の参加へは参加補助があります。

大会参加補助　：　５，０００円

懇親会参加補助　：　５，０００円

いよいよ開催まであと５４日と２ヶ月を切りました。

ZENSHIN

開催まであと

54 日

東洋療法推進大会
in 京都 2017

本会からのお申し込みは、８月２０日までに同封の申し込み用紙にてお申し込みください。

ＦＡＸ（０７５）８２１－２３９０まで

※全鍼師会ホームページからもお申し込みができます。

平成２９年度第１回生涯教育講座

６月１８日（日）、京都府鍼灸マッサージ師会会館において平成２９年度第１回生涯教育講座が定員３０名を上回る参加者で開催されました。

第１講は､「ＡＫＡ関節運動学的アプローチについて」田口理事の代務で中井尚先生から考え方と実践､実技を教えていただきました。手指の関節を使い関節面が軽く滑るように動かし関節の構造全体を正常化する感覚の説明をうけながら指導を受け、関節の動きが良くなる感じを体得できました。

第２講は、江田理事による「痛みの鍼灸治療と自律神経調整法について」簡単な様で難しい痛みの治療。痛みをどうとらえるか？分かりやすい講演をしていただきました。局所的施術・経絡的施術、治療は本治と標治法を行う。副交感神経を優位にする、鍼施術の極意を紹介していただきました。
日頃の痛み治療に自信がつく講義でした。

第３講は、山内理事による「観相学について、手相・人相・姓名判断等」手相の主要な丘・主要な線の説明から始まり、自身の手相を見て価値観・生き方・恋愛と結婚などを解説、手を見ながら「当たっている、ウソ」と言いながら会場が朗らかな笑いの中、終了しました。「後で見てください」と多くの方がお願いされていました。

第４講は、朝田会長による「効くあん摩について」　神の手と称される手技体得までの経験と体得の話しで、学生は強く揉むと指が痛いと言う。私のころは一升瓶を押して指を鍛えた。指先の感覚でコリの筋線維を感じてほぐす。
参加者から数名実際に「神の手」を体感していただきました。

「肩井を指圧すると奥深くまで心地よい感覚揉み返しが起こる感じはない」との感想。

会員の鍼灸あん摩マッサージ指圧実技力アップを目指して頂くため今回の生涯教育講座は初めて理事先生の得意分野を講演、今さら聞けない基本から応用まで施術交流と豊かな人間作りを考え、開催しました。

当日は時間が足りない程に全員熱心に極意を学び、多くの質問があり「治療院経営や訪問マッサージの患者をどの様に増やすことが出来ますか」などを丁寧にアドバイスしていただきました。

終了後も各講師のもとで質問がつづいていました。

今回、講座案内をお渡しした、京都府視覚障害協会会員様が多く参加してくださいました。

理事の先生、熱弁をありがとうございました。

【　学術部　田中光博　】

第６６回全日本鍼灸学会学術大会レポート

６月 10 日～11 日東京大学の本郷キャンパスにおいて『世界に誇る日本鍼灸』「東京宣言」 確立のためのプログレスをテーマに鍼灸学会大会が開催された。特別講演 10 講、シンポジウム４演題、パネルディスカッション、セミナー、ワークショップの他一般演題として指定講演、ポスター発表、口演発表など 270 題を超す発表が行われた。

会頭講演の東京衛生学園専門学校臨床教育専攻科小川卓良先生の「東洋医学と西洋医学：どちらが本質治療に近いのか」「治すとは何か：東洋医学は決して非科学的治療ではない」と題する講演を最初に聴講した。

東洋医学と西洋医学と対比しながら科学すること、「治す」と「治る」の違いに触れつつ西洋医学は高度な医療設備等、東洋医学にはない優位な点が多々あること、診断や病態把握力は東洋医学の比ではないこと。しかし、本質的治療より多くは対症療法であり、しかも副作用を伴う。確かに西洋医学は日進月歩発展してきたことは事実であるが、そのパラダイムは変わりなく、がん、糖尿病やフレイル、ロコモ、そして副作用の問題など課題は多い。よって、平均寿命は延びても健康寿命を大幅に伸ばすことは未だ難しい現実がある。また、現代西洋医学の発展には医療機器や新薬の研究開発費等を伴うため、発展すればするほど費用がかかるという問題を内在していること。これは少子高齢化が急伸し、医療費の削減を大きな課題とする我が国の現状に矛盾していることも熱弁されていた。今年発表の調査でも医療費が多額地域や医師数の関係で多いからといって平均寿命も健康寿命も延びていないことが報告され医療費の効果検証が必要であると講演。

また、講義で西洋医学が基盤としているパラダイムでは、理論的であること、客観的であること、臓腑→細胞→分子、或いは、内科→胃腸科→〇〇臓器専門などのように分化と分析的であること、診断では病気の原因を追究し、治療面では「アロパチー」がパラダイムとなっている。アロパチーとは、発熱には熱を下げ、血圧が高ければ下げる治療をする。何故発熱するのか、何故血圧が高くなったのかの原因如何に関わらず対症的な治療をすることをいい、人体の本質論的治癒反応と全く逆のことを行っている場合も多々あると述べ、二次予防や健康維持・増進の考えでもワクチンや予防接種も人の免疫力全体を克進させるものではなく、弱い感染を起こし弱い抗体を作るものであるため、効果は不完全でかつ病気を発症するリスクや副作用もある。

そこで東洋医学は、非科学的といわれるが本質を包含している。東洋医学は、古典を学問的基盤にして個別性や主観性、全体を診るなど哲学的思想があるので普遍性、客観性などに課題があることは否めない。しかし、西洋医学に比べて実は本質的な内容を持ち得る。それは健康増進、全人的、未病治という言葉で表せることや、風邪に敢えて発熱を促し、結果的に免疫力を高めること等の治療を行うことからも説明できる。そして何よりも安価で経済性と安全性に富む治療法である。21 世紀こそ、東洋医学が普及することにより健康寿命が延び、医療費の削減に繋がることを科学的に証明していくことが更に重要であることと、その一方で医学や医療のパラダイムシフトもゲノム医療、遺伝子工学、PS 等、医療周辺の科学技術の急速な発展により医療の在り方も変化している。例えば個人の遺伝情報を基に治療法や薬の選択を行うことで今までにない効果が上がっており東洋医学の特徴であり得意とする個人医学も東洋医学の特徴とは言い難くなってきた。そこで、科学技術を最大限に利用しつつも、鍼灸治療が持つ健康維持、増進、スキンシップ、心への作用等の特徴をより発展させながら、新たなパラダイムを構築する必要があるのではないだろうか、と結論された。

正に、これは私達鍼灸マッサージ師に課せられた課題でしょう。昨年本会にてご講演をいただいた福田文彦先生の講演でも「東京宣言」の前後４年間の一般演題数、論文数の状況を比較する報告がなされた。教育機関の増加、鍼灸師の数も増加しているが学術研究は停滞もしくは減退傾向。求められるのはエビデンスレベルの高い RCT（ランダム化比較試験）だけでなく臨床報告や基礎研究も重要。一件の症例報告から症例の蓄積、有効例の蓄積そして検証されて社会的に認められていくものでマッサージにおいても同様に効果や評価を検証し、まとめること、症例検討からはじめ症例の蓄積研究と発表をすすめて頂きたいと思う学会参加でした。

【　洛北ブロック　江田　】

京都府山城運動公園コンディショニング指導報告

６月２３日（金）１０：30～１１：30 京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）のストレッチ＆軽運動のクラスにお邪魔しセルフコンディショニングについてお話と体操指導させて頂きました。定員３０名のところ４２名お集まり下さって将来寝たきりにならない為に何処を刺激するか、今、ご自分で出来る身体のお手入れはどういう方法があるのか、ときには真面目に、ときには笑いながら熱心に聴いて下さいました。

７月５日（水）１１：00～１２：00
２回目のコンディショニング指導をさわやか健康クラスの方々にお話させて頂きました。
前日台風が通過した後にもかかわらず定員５０名のところに５７名もお越し下さいました。
今回のクラスは前回より運動強度の高いクラスですので、体操に使う曲目もアップテンポで、振り付けもにぎやかなものにしました。

前回も受講された方はいらっしゃらなかった為、コンディショニングの意味である

①パフォーマンスの向上と外傷障害予防
②自分で出来るコンディショニング
③寝たきりにならない為の４つの筋肉
④病気による腰痛、膝痛の見分け方
⑤転倒予防、認知症予防の動作
⑥音楽を使った体操

以上を実技と共に楽しく指導させて頂きました。
指導後の質疑応答にも入れ替わり１０名程いらして下さり、皆さんの関心が高かった事を実感しました。また来年度以降も継続出来たら師会の理解も深まると思います。
ご足労頂いた山城総合運動公園管理事務所の裏野係長、山田主事、師会北田理事に感謝申し上げます。

【 洛中ブロック長 吉舎 定良 】

仏眼鍼灸理療専門学校講師派遣

７月１１日（火）１３：００～１６：１０まで仏眼鍼灸理療専門学校（本科３年生　１６名）に当会の講師派遣として南京都ブロックの華学和博（はなさとかずひろ）先生に「ロコモティブシンドローム改善の運動療法・手技療法」として講義・実技を行っていただきました。学生の方たちは臨床豊富な先生なので熱心に受講されていました。本年度の２名の先生の講義も好評でもっと受講したいとの声もアンケートでありました。しかしながら、当会としては幅広い講義を目指して臨床経験豊富な先生を学校にご紹介したいと考えておりますので、沢山のご協力お願い申し上げます。

【組織部　北田義博】

法　制　だより　　今月の報告

１．指導要請

（１）山城南保健所へ２件

無免許者による違法広告

有資格者による違法広告、違法業務の疑い

（２）奈良市保健所へ３件

無免許者による違法広告、違法業務を２件

有資格者による違法広告、違法業務

（３）京都市　医務審査課へ１件

南区　有資格者による違法広告

２．無免許者対策委員会の発足

委員長　森孝太郎

委員　　田中光博、段本慎二、山﨑宣彦

３．無免許対策協議

６月２２日（木）

場所　京都市役所

出席者　京都市担当者３名　　森理事、山﨑理事

協議事項

新年度ということで、今後も引き続き、無免許者対策の協力を依頼し、意見交換を行った。

京都市から、今まで「保健センター」で行っていた、あはき関係を含む、医療関連の業務は、医療衛生推進室医務衛生課が行うことになると報告を受けた。

このことにより、指導要請、及び、一般市民が施術者の免許の有無を確認するのも、同課へ問い合わせすることとなった。

厚労省は、あはき柔整による違法広告、及び、無免許者の施術所店舗の広告について、各都道府県に調査依頼を行っています。

厚労省の調査は、４月末から行われており、秋頃に調査票を回収、集計。
１２月以降には広告に関するガイドライン等の作成に向けた検討会を開催予定としている。

本会では、より多くの情報を京都府、京都市に提供する予定です。違法広告、または、違法と思われる広告の提供、ご協力をお願いします。

◇◇◇　会員の皆様～法制部へ情報提供をお願いします　◇◇◇

無免許業者によるビラやチラシ等の案内、看板、施術等の情報提供を
本会事務所へお寄せください。

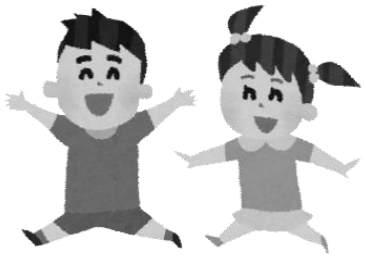
TEL （075）803－6078　FAX（ 075）821－2390　【法制部　山﨑宣彦】

イオンモール京都五条

キッズ本格お仕事体験への参加協力をお願いします。

「はり・きゅう・マッサージの日」の取り組みとして、上記のイベントに参加します。多くの会員皆様にご参加頂けます様、宜しくお願い申しあげます。

日時　平成 29 年８月 11 日（金・祝）
場所　イオンモール京都五条　３F　イオンホール
時間　９：00～17：00
参加申込みは　office@ksmk.jp にて
ブロック名と名前を明記の上、参加可能な時間を連絡ください。
また、会館事務所にて電話連絡も受け付けます。
電話（075）803－6078　FAX（075）821－2390



スポーツケア部、洛北ブロック合同企画

施術協力者、ブロック活動員を募集しています。
平成 29 年９月９日(土)　島津アリーナ京都第一会議室(京都府立体育館)
活動時間
　　９：00～13：00　鍼灸マッサージ無料体験施術
　　14：00～16：00　ロコモテスト
　毎年恒例の体育館フェスタに今年も参加します。今年、午前中は例年どおり鍼灸マッサージの無料体験施術を行い、午後からは初の試みとなるロコモティブシンドロームのテストをします。ロコモテストは誰でも簡単にできる種目ばかりなので、測定も非常に簡単です。この機会に測定員として参加してみませんか？
　申込み 京都府鍼灸マッサージ師会　（075）803－6078　締切り ８月 31 日(木)17：00

平成 29 年度北京都ブロック事業参加者募集のお願い

国際親善大会　第 17 回 2017 歴史街道丹後 100km ウルトラマラソン
マッサージボランティア

日時：９月 17 日（日）11：00～18：30
場所：京都府丹後市網野町アミティ丹後　体育館
内容：100km2600 人　60km1400 人　スタート４：30　大会終了時間 18：30。
　　過酷なマラソン選手のボランティアケアマッサージ。
※大会主催者と詳細協議中の為、変更事項がある場合は参加者に後日お知らせします。
　参加協力者申込み先　京都府鍼灸マッサージ師会
　　電話（075）803－6078　FAX（075）821－2390

会 員 掲 示 板

高取城址～壷阪寺コース（約１１ｋｍ）に同行しました

師会同好の皆さんと上記コースを歩きました。６月 25 日(日)午前 10 時半頃、近鉄橿原神宮前駅に集合し、吉野線に乗り換え壷阪山駅で下車。ここで〝腹が減っては戦が出来ぬ〟と駅の待合で少し早めの腹拵え。エネルギー補給を済ませ、奈良の高取町にお住まいの西島先生の先導で一路高取山を目指しました。途中少し雨が降ってきたので傘をさしての山登りとなりました。登りは少ししんどかったのですが、頂上の石垣が突然現れた時は〝ホッ〟とすると同時に、その佇まいに感動しました。　この高取城は備中松山城(岡山)、美濃岩村城(岐阜)と並ぶ日本三大山城の一つだそうです。城は標高が 583.6m ある高取山の頂上に築かれ、城内周囲は約３ｋｍにも及び、現在は緑に覆われ石垣を留めるのみの姿ながら、本丸、二の丸跡の立派な石垣からは往時の栄華が偲ばれます。平成 18 年に日本 100 名城に認定されたそうです。　山上で何百年の古木に囲まれた城址は霧に包まれて幽玄の世界を現出。暫し我を忘れて佇んでいました。　頂上の城跡で暫く休憩した後、山づたいに壷阪寺へと歩を進めますが、やや時間的に難があり壷阪寺への参拝は山道からの遥拝となりました。　集合場所の橿原神宮前駅にて、おでんと生ビールで反省会兼お別れ会をしました。地元の地理に詳しい西島先生の案内と古代史に造詣の深い漆谷先生の説明に心より御礼申し上げます。

【洛西ブロック　一般会員】